

# 日本ザンビアハンドボール交流プロジェクト

在ザンビア日本国大使館

2016年、田代征児・在ザンビア日本国大使館書記官（当時）が、日本ザンビアハンドボール交流プロジェクト（「ZIKOM」（ニャンジャ語でありがとうの意味））を立ち上げ、ザンビアハンドボール協会の活動支援、選手、現地学生の復学支援活動等を行っています。

田代元書記官は、元ハンドボールの国体選手で、ザンビアの人々がハンドボールをする様子を見て、ポテンシャルを感じて支援することを決意しました。その後、クラウドファンディングを立ち上げ、寄付金を利用して活動中です。現在、毎週土曜日に、ルサカで、ナショナルチームの練習が行われており、本プロジェクトから、選手の練習中の食事等を提供しています。また、2017年3月、2018年3月、2019年3月には、ザンビア在留邦人との親善試合が行われ、側嶋・在ザンビア日本国大使が出席し、スピーチを行いました。

2017年12月と2018年4月には、早稲田大学の芳村コーチを本プロジェクトの招へいによりヘッドコーチとして派遣し、アフリカ地区予選に向けた強化合宿を行いました。2018年4月に、芳村コーチはU-20の監督となりました。合宿の様子は、NHK・BS1「世界はTokyoをめざす「涙が教えてくれたこと～ザンビア男子ハンドボール～」」で放映されました。ザンビアのハンドボールには、チーム戦略が欠けていたことから、芳村コーチがフォーメーションを中心に手取り足取り教える様子が取り上げられました。

このほか、2016年12月には、日本でハンドボールの術や戦術を習得させ、ザンビアのハンドボール競技発展に貢献するために、ハンドボールナショナルチーム（U-20）を日本に招へいしました。

（関連情報）

（1）日本ザンビアハンドボール交流プロジェクトHP

<https://zikomo.jp/>

（2）在ザンビア日本国大使館HP：日ザンビアハンドボール親善試合の開催（2017年3月、2018年3月、2019年3月）

[https://www.zm.emb-japan.go.jp/itpr\\_ja/00\\_000148.html](https://www.zm.emb-japan.go.jp/itpr_ja/00_000148.html)

[https://www.zm.emb-japan.go.jp/itpr\\_ja/00\\_000265.html](https://www.zm.emb-japan.go.jp/itpr_ja/00_000265.html)

[https://www.zm.emb-japan.go.jp/itpr\\_ja/00\\_000376.html](https://www.zm.emb-japan.go.jp/itpr_ja/00_000376.html)